



# 2022年3月期 第1四半期決算説明資料

---



 日本高純度化学株式会社

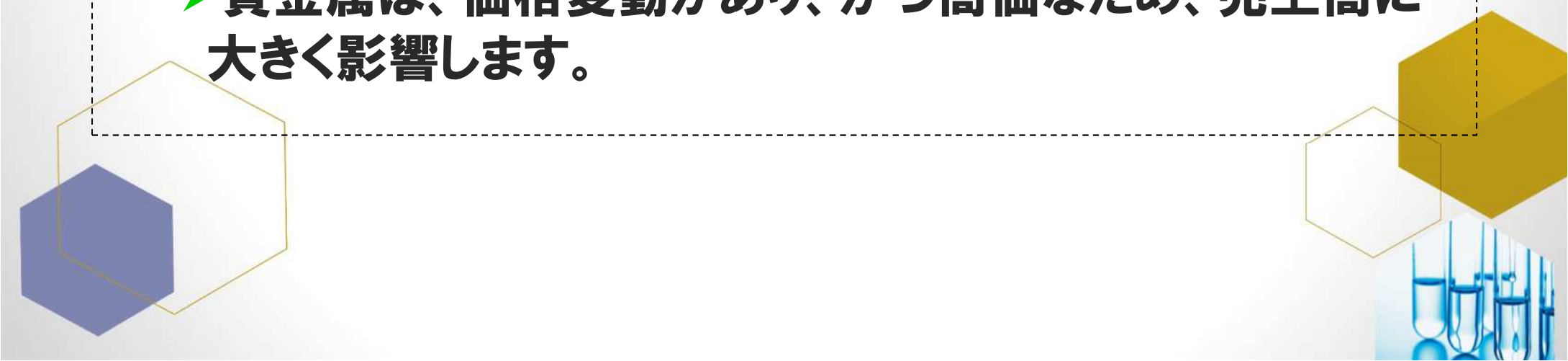
証券コード: 4973

2021年7月26日



# 決算の概況

## (注)当社業績の見方のポイント

- ▶ 売上高は、薬品と一緒に貴金属を売る場合と、売らない場合とで大きく変動します。
  - ▶ 貴金属は、価格変動があり、かつ高価なため、売上高に大きく影響します。
- 



# 2022年3月期 第1四半期の概況

## 電子部品業界の状況

- 5G(第5世代移動通信システム)対応スマートフォンの拡大やリモートワーク、オンライン学習の浸透に伴うパソコン、データセンター関連の需要が堅調に推移した。
- 車載用電子部品については、自動車の需要に回復が見られたものの、半導体不足による自動車生産への影響が懸念されている。

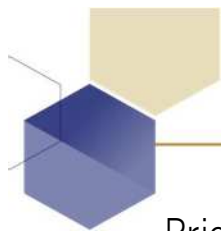
## 当社決算の概況

- 5G対応スマートフォン向けやリモートワーク、オンライン学習に伴うパソコン、データセンター関連の需要増加を背景に、プリント基板・半導体搭載基板用めっき薬品の販売が堅調に推移した。
- コネクタ用めっき薬品の販売は、5G対応スマートフォン向けの需要増加に加え、車載向けの需要回復にも支えられ好調に推移した。
- リードフレーム用めっき薬品の販売は、通信機器向け、車載向けの需要増加と共に、貴金属パラジウム価格の高騰に伴い好調に推移した。

# 2022年3月期 第1四半期決算概況

(単位:百万円、%)

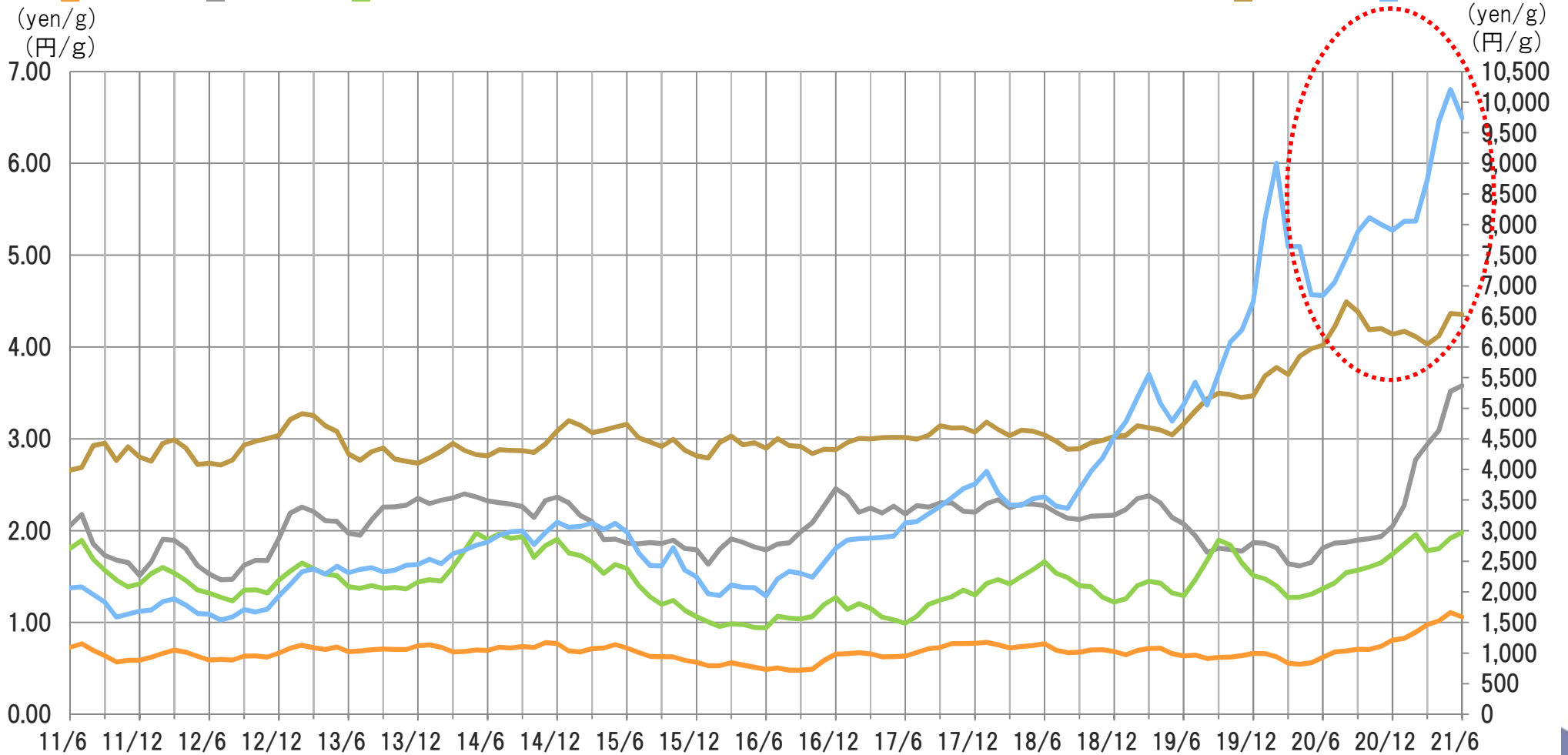
	2021/3期 1Q	2022/3期		2022/3期予想	
		1Q	増減率		達成率
売上高	3,891	5,108	31.3	17,000	30.1
営業利益	179	266	48.1	1,090	24.4
経常利益	233	326	39.4	1,200	27.2
純利益	170	237	38.8	870	27.3
1株当たり 当期純利益	29.56円	40.88円	—	150.08円	—



# メタル相場推移

Prices of copper, tin and nickel  
銅、スズ、ニッケル価格

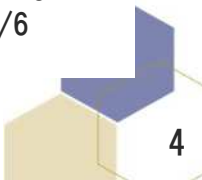
Copper 銅  
Tin スズ  
Nickel ニッケル



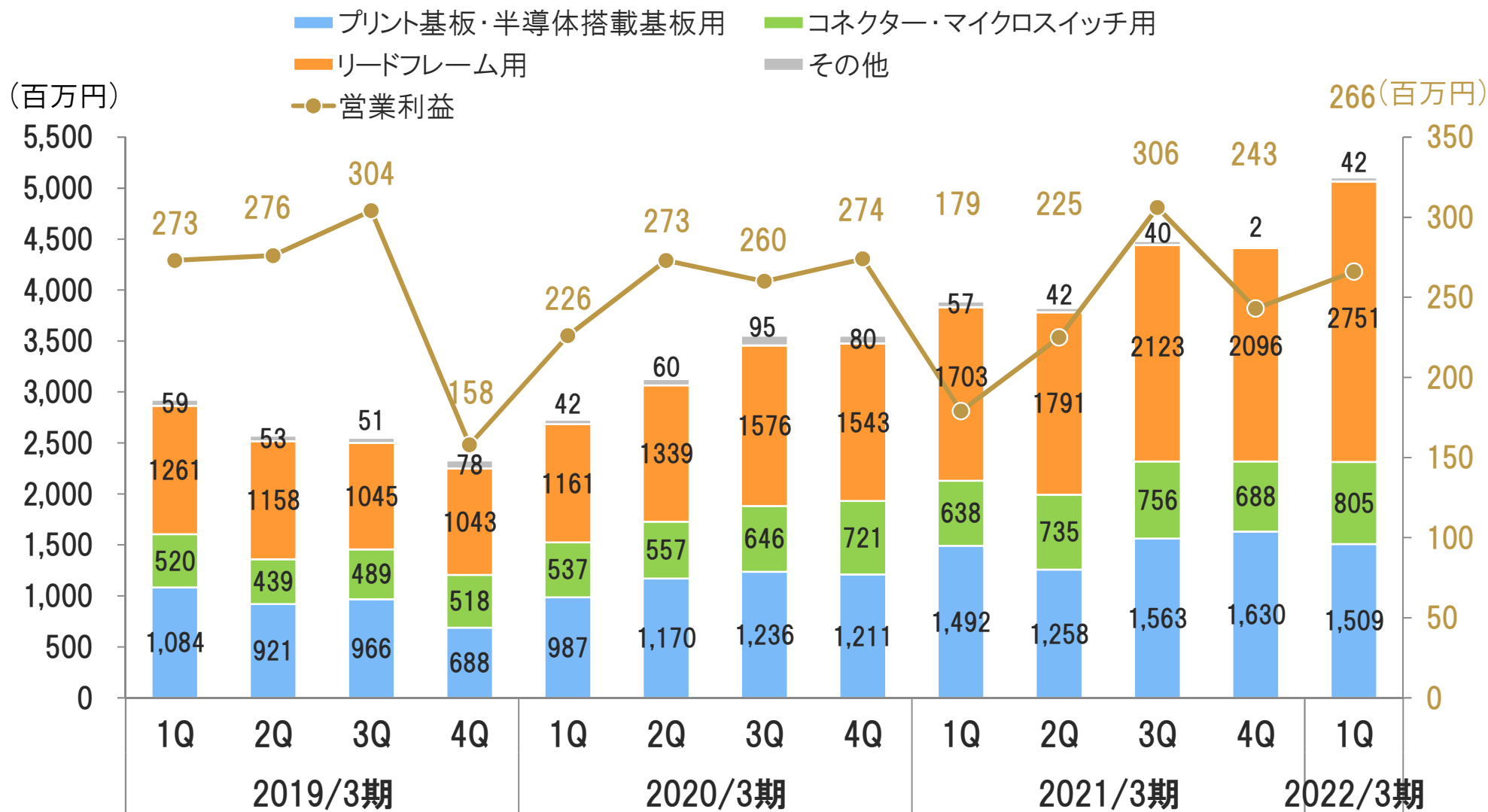
Prices of gold and palladium  
金、パラジウム価格

Gold 金  
Palladium パラジウム

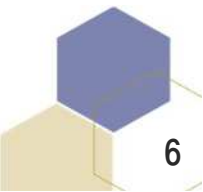
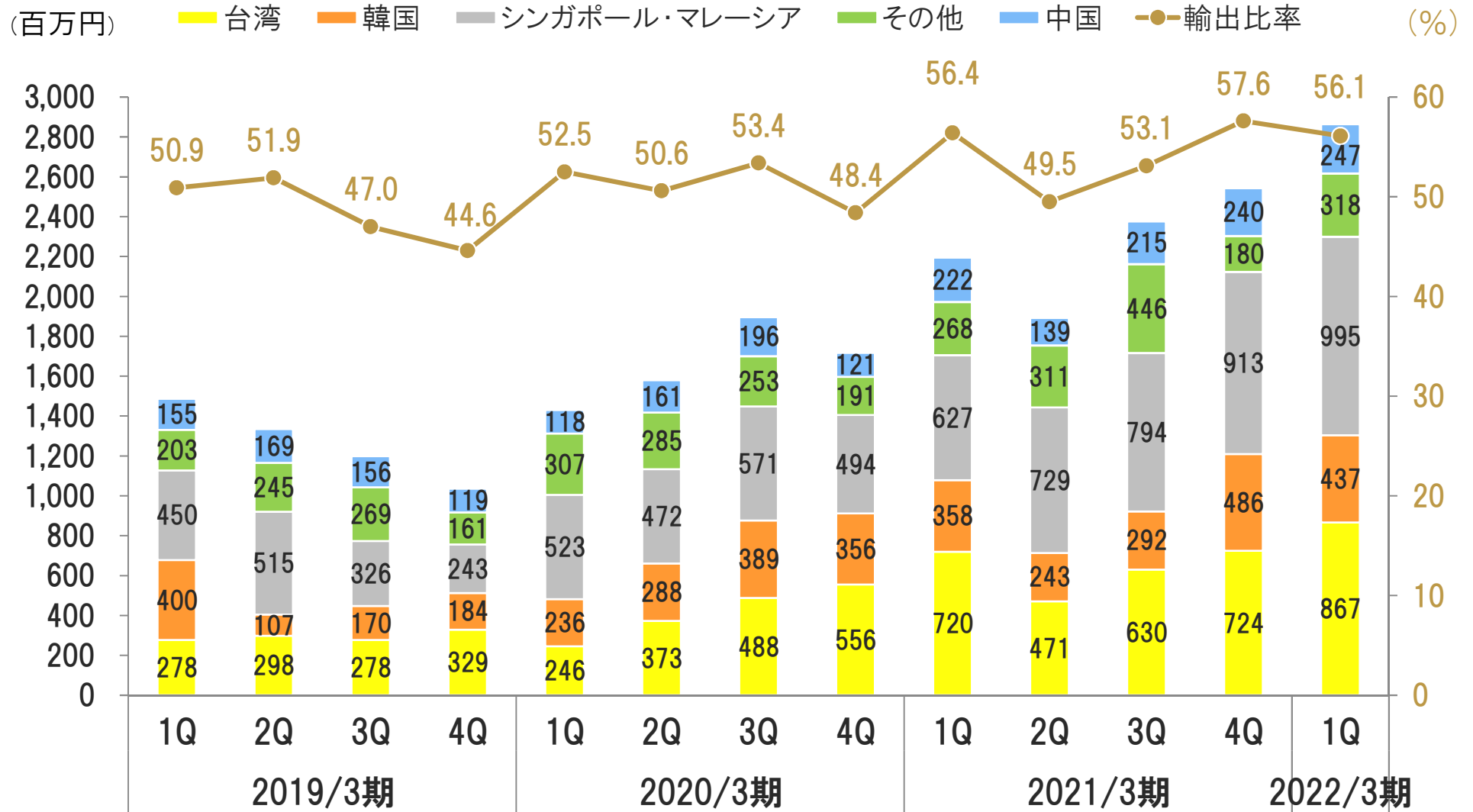
(yen/g)  
(円/g)



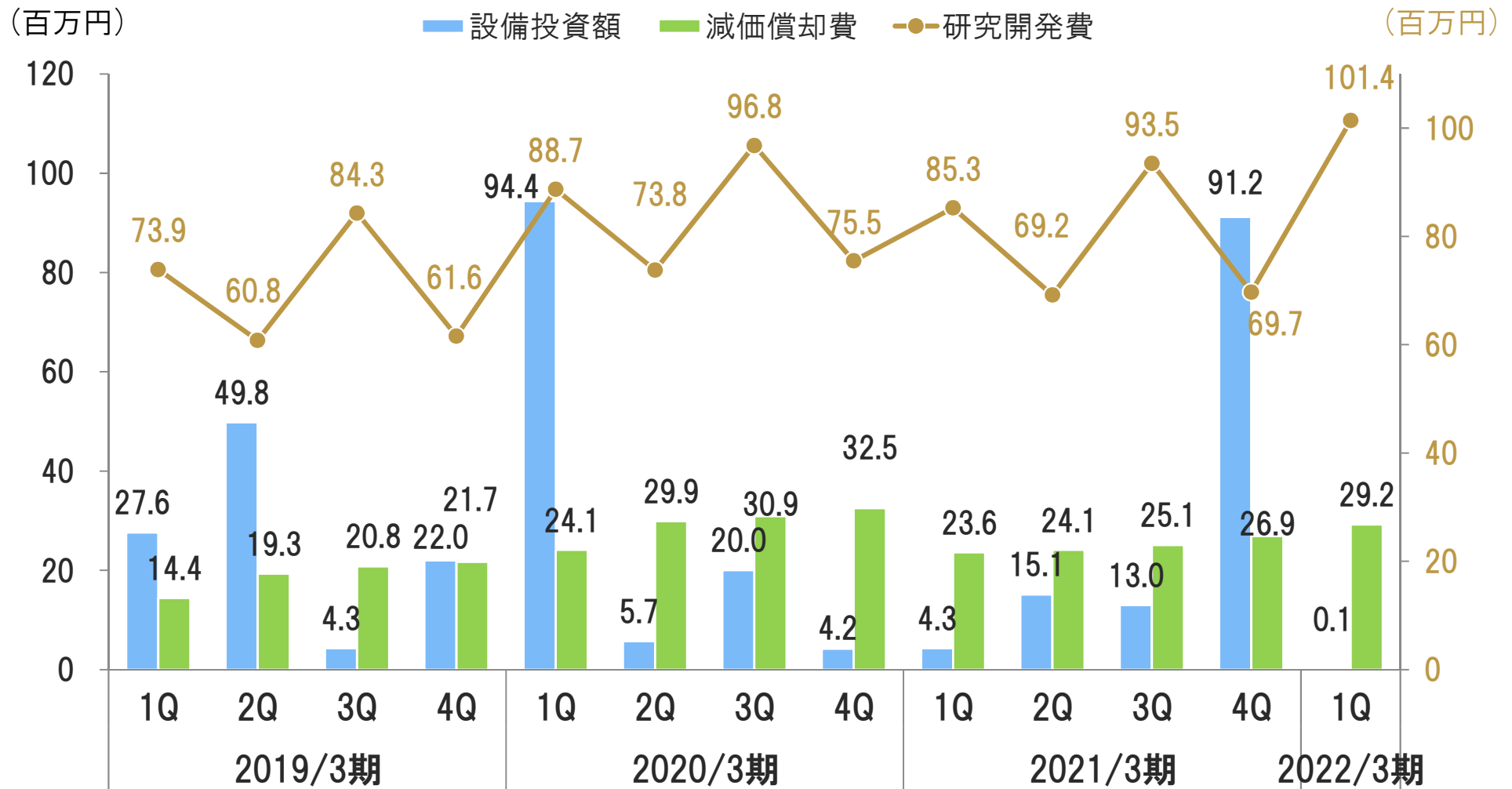
# 売上高・営業利益の推移(四半期ベース)



# 輸出地域別売上高の推移(四半期ベース)



# 設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移





# 次期の見通し

(単位:百万円、%)

	2021/3期			2022/3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	16,622	100.0	28.2	17,000	100.0	2.3
営業利益	955	5.7	▲7.7	1,090	6.4	14.1
経常利益	1,069	6.4	▲8.2	1,200	7.1	12.2
当期純利益	790	4.8	▲7.9	870	5.1	10.1

## トピックス

- 硬質金(金合金)**・・・マイクロコネクタ用硬質金めつき薬品を拡販中
- DIG(銅上ダイレクト金)**・・・ENIGに代わる高周波特性・高解像度対応プロセスとして拡販中
- EPIG(銅上ダイレクトパラジウム/金)**・・・巨大なIoT市場に展開できるよう、技術・営業両面でフォロー中

いずれも業界動向や顧客ニーズに迅速に対応できるよう積極的に拡販活動をおこなっております。



# 配当について

(単位:円、%)

	通期	1株当たり 当期純利益	配当性向
2017/3期	80	124.44	64.3
2018/3期	80	144.13	55.5
2019/3期	80	146.36	54.7
2020/3期	80	148.58	53.8
2021/3期	80	136.53	58.6
2022/3期(予想)	80	150.08	53.3

# ESG/SDGsへの取り組み

当社のめっき薬品は、電子部品業界で広く使われ、近年ではスマートフォン市場に留まらず、電動化・電装化が進む自動車市場、IoT化が進む産業機械市場など、幅広い分野へ進出しております。

今後も事業を通じてESG/SDGsに関する取り組みを進めてまいります。

## ●環境に配慮し、貴金属資源の有効活用につながる製品を顧客に訴求

- ・貴金属使用量を減らすことのできる省金めっき薬品を顧客に提供

## ●社会貢献活動の促進

- ・JPC奨学財団を設立・運営し、36名の大学生・大学院生へ奨学金支給を支援



## ●コーポレートガバナンスの強化

- ・取締役会の諮問機関として指名報酬諮問委員会を設置 (2019年6月)
- ・英文招集通知及び議決権電子行使を導入 (2020年6月)

# 製品ラインアップ ~ラインアップ拡充と新分野開拓~

	めっき方式	用途	製品ラインアップ
電解	純金		① 粗面上でも均一な膜厚が得られる純金めっき ② 硬度の高い純金めっき
	硬質金 (合金)		マイクロコネクタ用省金硬質金めっき オーロブライト BAR7
	電解Pd		PPF用薄膜パラジウムめっき パラブライト NANO2
無電解	置換金		中～高リンニッケルで使える置換金めっき IM-GOLD IB2X 下地ニッケルの腐食が少ない置換金めっき IM-GOLD CN
	還元金		亜硫酸金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD シアン化金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD CN
	還元Pd		ENEPIG用還元パラジウムめっき ネオパラブライト 2 ダイレクト還元パラジウムめっき ネオパラブライト DP
新分野			卑金属(銅、スズ、ニッケル) 合金めっき 後処理剤など



## 注意事項・免責事項

---

当該資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は、いずれも当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績へ影響を与える要因について、2021年6月時点で入手可能な情報をもとにした予想を前提としています。

これらは、市況、競争状況、新製品およびサービスの導入およびその成否、ならびに情報通信関連産業の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。よって、実際の業績は配布資料および決算説明で用いる予想数値とは、大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。

この資料の著作権は日本高純度化学株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

---

### お問い合わせ先

TEL. 03-3550-1048 FAX. 03-3550-1006

経営企画部

<https://www.netjpc.com>



# 補足資料： 会社紹介

---

## 沿革

- 1971年7月 会社設立
- 1999年11月 MBOを実施
- 2002年12月 JASDAQ市場に上場
- 2004年3月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2019年2月 一般財団法人JPC奨学財団設立
- 2020年4月 公益財団法人JPC奨学財団に認定

## 事業概要

- 電子部品業界の発展を支える電子材料を供給するファインケミカル企業
- 事業のターゲットを貴金属めっき工程に絞り世界シェアトップ
- 変化の激しい業界にスピーディーに対応できる販売体制と技術サポート体制を構築
- 大規模な製造プラントを必要としないファブレス企業
- 電子部品の接続に用いる貴金属の使用量を最小限に抑える技術を提供し、資源の有効利用に貢献